



6月5日、比叡山内にて実施された記念植樹

地球のともしび

今年の梅雨は稀にみる短い梅雨となり、水不足や酷暑が心配されています。自然は多くの恵みを与えてくれますが、近年、さまざまな自然災害を危惧することが多くなりました。自然環境の乱開発による気候変動が大きく影響していると言われています。こうした自然環境の悪化や世界で起きている諸問題を解決するため、SDGs(持続可能な開発目標)として17の目標が設定され、さまざまな取り組みが行われています。

滋賀県では、この6月にSDGsの目標15である「陸の豊かさを守ろう」をテーマの一つとした全国植樹祭が開催され、比叡山内にも全国からの招待者による記念植樹会場が設けられ、琵琶湖を望む会場で植樹が行われました。

これらSDGsの目標は、さまざまな生命を守っていくために設定されています。天台の教えに「草木国土悉皆成仏」とあります。これは動物だけでなく植物などすべてのものが仏になることが出来るとされています。私たちが住んでいるこの地球こそが生命そのものであるといえるのではないのでしょうか。

このSDGsの活動は、政治や経済の為ではなく、地球の為にならなければなりません。その為には伝教大師の「忘己利他」の精神で、地球を利し、地球の生命のともしびを守っていかなければなりません。

延暦寺根本中堂には、伝教大師の教えの象徴である「不滅の法灯」があります。大師が灯して以来、1200年以上比叡山の僧侶によって護られてきました。法灯には菜種油をいいますので、油を切らせば消えてしまいます。しかし、延暦寺では当番を決めて油を継ぎ足し法灯を護っているではありません。僧侶一人ひとりが法灯のことを常に想い、自ら法灯の油を見にいき、絶やすことの無いようにしているのです。

地球のともしびも、様々な取組により護られようとしています。他人任せにするのではなく、私たち一人ひとりが地球のことを想い、行動していかなければなりません。「一隅を照らす」の実践が未来永劫、この素晴らしい地球のともしびを灯し続けることとなるのです。



発行所
比叡山時報社
〒520-0116 大津市坂本本町4220
郵便番号 520-0116
電話 077-578-0001
振替 00970-2-9732
宗教法人延暦寺事務所
定価 1部110円 年1200円

延暦寺広報

叡山講福聚教会
会報
年会費(3000円)中
に会報(比叡山時報)
購読料を含む。

令和4年比叡山から
発信する言葉
万行 大愚
すべての行いは大悲から

ホームページから



購読は延暦寺

